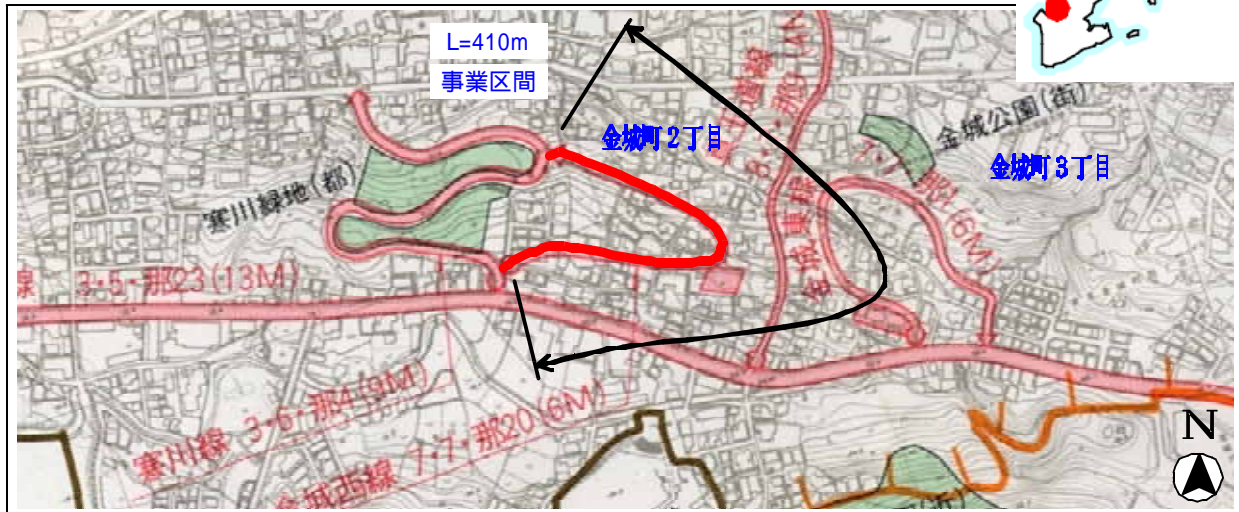
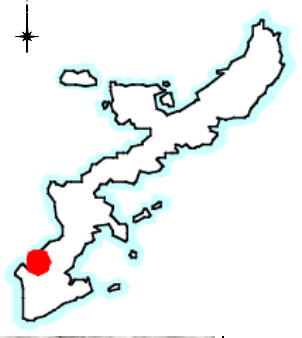


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局開発建設部建設産業・地方整備課
担当課長名：竹富 信也

| | | | | | |
|---|---|--|---|--|-----------|
| 事業名：都市計画道路 首里金城地区 金城西線 | 事業区分：街路 | 事業主体：沖縄県那覇市 | | | |
| 起終点：自 沖縄県那覇市首里金城町2丁目 至 沖縄県那覇市首里寒川町1丁目 | | 延長：0.41km | | | |
| <p>事業概要：首里金城地区金城西線は、歴史的町並み保全が義務づけられている首里金城地区都市景観形成地域に存し、また身近なまちづくり支援街路事業の歴史的環境整備地区として、首里城を中心とする歴史的景観に調和した生活基盤整備（下水道等）を行う路線として位置付けられている。</p> <p>首里金城地区は、県指定重要文化財の首里金城町石畳道（都市計画道路真玉道線）を挟んで住宅の密集した地域であるが、車両のサービス機能を持つ道路は、寒川線、金城東線、石畳道のみであるため、地区内の住居環境及び防災等の改善と石畳道の歴史的環境の保全を図る目的で整備を行う。</p> | | | | | |
| H6年度事業化 | H5年度都市計画決定 (H19年度変更) | H7年度用地着手 | | | |
| | | H14年度工事着手 | | | |
| 全体事業費 | 約20億円 | 事業進捗率：96% | | | |
| 計画交通量 | 1,600台/日 | 供用済延長：0.0km | | | |
| 費用対効果分析結果 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">B/C： (事業全体) 1.1 (残事業) 35.0</td> <td style="width: 40%;"> 総費用：(残事業)/(事業全体) 0.78/25億円 (事業費：0.74/25億円) 維持管理費：0.04/0.04億円 </td> <td style="width: 30%;"> 総便益：(残事業)/(事業全体) 28/28億円 (走行時間短縮便益：0/0億円) (走行費用減少便益：0/0億円) (交通事故減少便益：0/0億円) (ハドニック・アプローズ便益：28/28億円) </td> </tr> </table> | B/C： (事業全体) 1.1 (残事業) 35.0 | 総費用：(残事業)/(事業全体) 0.78/25億円 (事業費：0.74/25億円) 維持管理費：0.04/0.04億円 | 総便益：(残事業)/(事業全体) 28/28億円 (走行時間短縮便益：0/0億円) (走行費用減少便益：0/0億円) (交通事故減少便益：0/0億円) (ハドニック・アプローズ便益：28/28億円) | 基準年：平成20年 |
| B/C： (事業全体) 1.1 (残事業) 35.0 | 総費用：(残事業)/(事業全体) 0.78/25億円 (事業費：0.74/25億円) 維持管理費：0.04/0.04億円 | 総便益：(残事業)/(事業全体) 28/28億円 (走行時間短縮便益：0/0億円) (走行費用減少便益：0/0億円) (交通事故減少便益：0/0億円) (ハドニック・アプローズ便益：28/28億円) | | | |
| <p>事業の効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） ・個性ある地域の形成（歴史的景観を活かした道路整備や首里金城地区都市景観形成地域として特色あるまちづくりに資する事業である） ・災害への備え（幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する） （密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす） <p style="text-align: right;">他2項目に該当</p> | | | | | |
| <p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>歴史的風土の保全と生活基盤の整備を期待され、首里金城町自治会より早期整備に関する要望書が提出されている。（平成14年12月3日、平成15年11月25日）</p> | | | | | |
| <p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>本市の主要観光地として地区の背後に位置する首里城が世界遺産に登録され、観光客は年々増加傾向にある中、本路線の整備による首里城を中心とした歴史的環境の保全と生活環境の改善に対する整備効果が期待でき、周辺地域および那覇市全体に波及効果をもたらすことが期待されている。</p> | | | | | |
| <p>事業の進捗状況、残事業の内容等</p> <p>用地取得は平成20年度にて100%完了している。</p> <p>残工事としては、約45mの区間において埋蔵文化財発掘調査完了後に道路築造を行い、その後上下水道の整備と、路線全体の舗装工事となる。</p> | | | | | |
| <p>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</p> <p>都市景観条例に基づくまちづくりについて、関係機関や地元との協議等に期間を要し、間接的に関連して用地補償交渉に期間を要したため事業進捗の遅れとなったが、引き続き事業の進捗に努め平成23年度に供用予定である。</p> | | | | | |
| <p>施設の構造や工法の変更等</p> <p>再生材の使用により、資源の有効活用を図る。</p> | | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | | | | |

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。